

講義名	ブライダル事業論			授業形態	
担当教員	道前 美佐緒	開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

本講義は、ブライダル業界の成り立ちや、そのビジネスモデルが海外に展開していく過程について理解し、課題解決や新たな価値を自ら作り出す想像力と提案力を身につけることを目的としています。ブライダル業界は、ホテルや結婚式場を中心に、衣装・映像や、旅行代理店、住宅・不動産業など、多岐に及ぶ関連企業からなり、その市場規模は、およそ4兆円です。そのような、ブライダル業界の構造を把握し、国際的な視野を持ち、社会との連関について考察します。ブライダル産業には、ブライダル事業を「事業」で行う企業と、ブライダル事業以外の宿泊、旅行、飲食、葬祭などの事業を複合的に、ホテルや海外リゾートウェディングなどの「非事業」の企業があります。各種産業の特徴を把握し、ブランディング戦略について考察します。また、衣料店や製菓業、旅行業など、各種関連企業におけるブライダルビジネスの事例を取り上げ、その野の広いブライダル産業の社会的意義について考察します。国内外の各地の観光業と連関した「リゾートウェディング」や、行政と連携した「少子非婚化対策」などをとおした地域創生の可能性について考えます。そうした活動のひとつとして、流通科学大学と小野市とのウェディング事業を包括した連携協定における学生たちの取り組み事例が参考になります。そこで、受講生の皆さんにも、地域連携プログラムに参加していただきます。神戸の洋菓子業界と観光業、ブライダル業界との連関に着目し、「ウェディングケーキコンテスト」を企画・運営します。結婚式を挙げるカップルを公募し、2人の思い入りの場所や物語を表現したウェディングケーキのデザインを競い合うコンテストです。そのような実践をとおして、ホテルやブライダルビジネスに係わる新たな付加価値を創出する力を養うことができます。

到達目標

1. ブライダル産業の構造と特徴について理解することができる。
2. ブライダル産業の歴史や現状について理解し、課題について自ら考える力を養うことができる。
3. 観光とブライダルビジネスの連関について理解できる。
4. 観光資源の発掘と活用について、自身の見解を持つことができる。
5. 新しいビジネスモデルを企画する発想力と実行力を養うことができる。

提出課題

1. 平常レポート
各回の授業のテーマに基づいた課題を、主にキャンパスクロス上で提出していただきます。例えば、授業で扱った産業に属する企業を取り上げ、その事業内容やブランディング戦略などについて、簡潔にレポートするものです。
2. 「ウェディングケーキコンテスト」課題
公募カップルの個性や思い出を表現したケーキのデザイン画を提出していただきます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

1. 授業内で、課題として提出された事例を紹介し、皆で情報共有をしていきます。
2. 一般公募にエントリーされた作品と併せて、皆さんの作品も外部審査員も含めて審査し、優れた作品は表彰されます。最優秀作品は、レープ・ドゥ・シェフのパティシエの手で焼き上げた本物のウェディングケーキとして、「キャンパスウェディング」でカップルに提供されます。

評価の基準

平常レポート 70%
ケーキコンテスト課題 30%

授業中のリアクションペーパーや毎回の課題への取り組みは、授業への積極的な参加と同義とみなし、その内容を重視します。自らの視点で対象を捉え、自由な意見を述べてください。ケーキコンテストの課題については、デザインのポイントや表現方法については、授業で説明しますが、デザイン画の技法の巧みさを問うものではありません。現在の「オリジナルウェディング」の特性を、実践をとおして理解し、誰もが参加しやすいイベント運営について考える機会としてください。ただし、1回の課題が、成績全体の30%を占めるので、必ず提出ください。本講義や就職活動で、授業の欠席が余儀なく出されても、課題を提出していただければ、その課題を正当に評価します。授業中の私語や飲食（水分補給やのど飴を除く）など、周囲の人々にとって迷惑な行為を発見した場合、教室を退室していただきます。その場合、当該授業は欠席となります。

履修にあたっての注意・助言他

本講義は、ウェディングプランナーなどの業務に関する知識や技術に限らず、広く、ブライダルビジネスについての理解を得ることを目的としています。観光事業や地方自治体における観光づくりに興味のある人にも受講いただき、課題解決や新たな価値を自ら作り出す想像力と提案力を身につけてください。また、アシエイト・ブライダル・コーディネーター検定を受験予定の方は、「ブライダルコーディネーション論」と併せて、本講義を受講することを強くお奨めします。

教科書

参考図書

.アシスタント・ブライダル・コーディネーターテキスト	スタンダード	日本ブライダル文化振興協会	日本ブライダル文化振興協会	3200	000000000
----------------------------	--------	---------------	---------------	------	-----------

その他

授業計画

- 第1回：ブライダル産業の構造
ホテルや結婚式場を中心に、衣装・映像や、旅行代理店、住宅・不動産業など、多岐に及ぶ関連企業からなるブライダル産業の構造を概観します。
- 第2回：ブライダル事業者の特徴
- ホテルウェディング
- 第3回：ブライダル事業者の特徴
- 結婚葬祭互助会の誕生と発展
- 第4回：ブライダル事業者の特徴
- ウェディングの西洋化と外資系ホテルの参入
- 第5回：ブライダル事業者の特徴
- レストランウェディングとプロデュース会社
- 第6回：ブライダル事業者の特徴
- 婚礼革命とブライダルベンチャー企業
- 第7回：地域観光とブライダル
- 神戸スウィーツとブライダル
- 第8回：地域観光とブライダル
- ケーキコンテスト企画
- 第9回：地域観光とブライダル
- 婚礼を観光資源としたまちづくり：石川県七尾市「花嫁のれんのまち」
- 第10回：地域観光とブライダル
- 送料生の実践：小野市「おの恋ウェディング」
- 第11回：旅行業とブライダル
- パスポートの受渡
- 第12回：旅行業とブライダル
- リゾートウェディング
- 第13回：旅行業とブライダル
* 株式会社フタエのウェディングの戦略
- 第14回：ブライダルビジネスの展望
- 第15回：地域観光とブライダル
- 行政と連携した少子非婚化対策

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="checkbox"/> A: PBL（課題解決型学習）	<input type="checkbox"/> E: 反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="checkbox"/> B: ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> F: グループワーク
<input type="checkbox"/> C: プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> G: 実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> D: その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習 次の授業のテーマを告知しますので、それに関する事例などの情報収集をしてください。（所要時間20分30分）
復習 毎回扱った授業のテーマに基づいて、具体的な企業をピックアップし、その事業内容や特徴などを調べてください。それを、毎回の課題レポートに反映させて提出してください。（所要時間60分）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

ブライダル産業の構造と特徴を把握し、観光業や地域社会との連関について理解することにより、ホテルやブライダル関連企業の就業現場において自ら考える力を発揮し、ホテルやブライダル・ビジネスに係わる新たな付加価値を創出することができます。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

毎回の課題で得た知見を授業内で共有したり、やケーキコンテストへの取り組みなどで、新たな発想や他者理解の視点を磨くことができます。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
（公社）日本ブライダル文化振興協会 協会 協会
ブライダルコーディネーター検定技能検定委員
指定試験機関技能検定委員
ブライダルプロデュース会社経営、結婚式場顧問など、ブライダル業界を中心に広く企業の人材育成に携った経験を活かし、これからのブライダル業界に求められる発想力や実行力を養います。

備考